

## C P M ( Capacitor Potential Module) 回路、モジュール、Pat No 3133340号

最新のテクノロジーを使い、直流電源回路の回路内をコントロールし、直流電源回路のコンデンサの特性を引き出します。

### 動作原理

**C P M ( Capacitor Potential Module)** C P Mの特性をHP社製4800A型ベクトルインピーダンスメーターで測定すると、真空管アンプの直流回路でインピーダンスの高い回路、B+用 (CP-3045H) は810Hzが純抵抗特性、810Hzより低い周波数では35度のL分を持った抵抗、810Hzより高い周波数ではC分を示すそしてこのCは抵抗分を含み50KHzで完全なコンデンサ、500pFのコンデンサ特性を示します、また、アノードからカソードに電流を流すSBD特性も兼ねそなえています、効用としては

電源側からのSBD、Di、Cから発生する交流成分の高周波ノイズをアースに流すパスコンの役目と負荷側アウトプットトランス、スピーカーからの逆起電圧を-側から+側に回生させる、理想のローパス、ハイカットの役目をします。

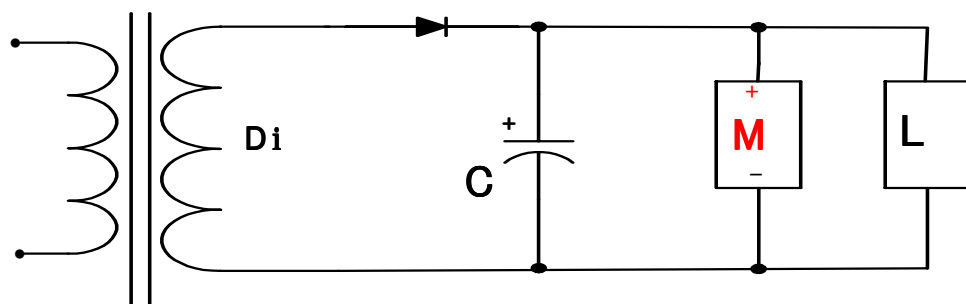
インピーダンスの低い回路、ヒーター、半導体AMP用回路 (CP-3006H) は80Hzが純抵抗特性、80Hzより低い周波数が15度のL分を持った抵抗、80Hzより高い周波数ではC分を示す、そしてこのCは抵抗分を含み20KHzで完全なコンデンサ、6000pFのコンデンサ特性を示します、SBD特性は低リーク、理論限界値に近いVF特性です、電源側が発生する交流成分高周波ノイズをアースに流すパスコンの役目、交流成分のリップル、音声信号等と負荷回路のmオーダのインダクタンスによる逆起電圧 $Z = 2 \pi f L$ の回生にも役立ちます。

### 結果

直流電源回路での過渡現象を抑えると、一時的な回路の瞬断状態がなくなることで、低域のドライブ能力があがり、尾を引く現象がなくなりキレの良い低音が再生されます、高域は高調波ノイズ成分が減ることで、今まで体験出来なかった倍音再生が出来、音楽を聴く楽しみが増えます。



### C P M ( Capacitor Potential Module)



回路にコイル成分を含んでしまう負荷 (基板、配線等)

#### 真空管AMP B電源用

CP - 3060H	<b>MAX 600V</b>	¥6,300-
CP - 3045H	<b>MAX 450V</b>	¥4,700-
CP - 2060H	<b>MAX 600V</b>	¥5,000-
CP - 2060HC	<b>MAX 600V</b>	¥5,400-
CP - 2045H	<b>MAX 450V</b>	¥4,400-

#### ヒータ用、半導体AMP用

CP - 2022H	<b>MAX 220V</b>	¥3,200-
CP - 3010H	<b>MAX 100V</b>	¥3,000-
CP - 3006H	<b>MAX 60V</b>	¥2,800-
CP - 3006HC	<b>MAX 60V</b>	¥3,200-

**\*赤字はコンデンサ電圧**

A & R Lab 代表 出川三郎  
住所 〒257-0001 秦野市鶴巻北3-10-23  
TEL、FAX 0463-76-9606  
mail : sdegawa@mvd.biglobe.ne.jp